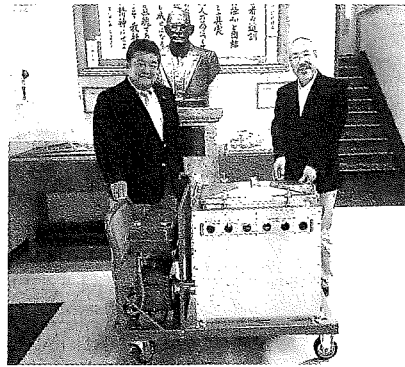


各企業等の社会貢献

レスキューキッチンを寄贈  
災害救援活動に役立て

宮坂建設工業が災害救援ネットに



作り、来場者に  
振る舞っている。

ことし八月に  
は、同社の役員  
員で構成する  
「広島市土砂災  
害避難支援隊」  
に災害救援ネッ  
トワーク北海道  
も同行し、現地

【帯広発】宮坂建設工業  
(株)（帯広、宮坂寿文社長）  
は十七日、災害救援ネット  
ワーク北海道（山口幸雄代  
表）に対して、レスキュー  
キッチンを寄贈した。写真  
真下。宮坂社長が山口氏に  
目録を贈呈し、「災害救援  
活動に役立ててほしい」と  
期待を寄せた。

同社主催で毎年、行っ  
ている「地域住民参加型防災  
訓練」はことしで二十二回  
目を迎えた。防災訓練の目  
玉の一つでもある炊き出し  
訓練は、災害救援ネット  
ワーク北海道の指導のも  
と、第十八回目からカレー  
ライスや豚汁、おにぎりを  
しめは、被災者にもあり、

でトウモロコシやジャガイ  
モの炊き出し支援活動を実  
施。  
今回、災害救援ネット  
ワーク北海道が所有するレ  
スキューキッチンが「経年  
劣化に伴い、故障しがち」  
との話を聞き、キッチン一  
台を寄贈することとした。  
様々な被災地でボランテ  
ィア活動を行ってきた山口  
氏は、レスキューキッチンの  
普及に向け、各地で実演  
などを行っており、災害時  
に重要な役割を果たすこと  
を唱えている。現在、全道  
で六十の自治体が所有して  
いる。山口氏は「食べる楽

宮坂社長は「電気等が止  
まったフラックアウトの状  
態の時に、レスキューキッ  
チンがあると、食事だけで  
動くに役立ててほしい」と期  
待を寄せていた。

2014. 11. 19 北海道建設新聞



災害救援ネットへ  
レスキューキッチン  
感謝を込めて寄贈  
宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業  
(本社・帯広)は、ボラ  
ンティア団体の災害救援  
ネットワーク北海道（清  
水町）に、社会貢献活動  
としてレスキューキッ  
チン1台を贈った。写真。  
同社は毎春秋に、帯広

市内で住民参加型防災訓  
練を開催。2008年か  
らは災害救援ネットワー  
ク北海道の指導で炊き出  
し訓練も実施している。  
この団体が災害支援現場  
などで使うレスキューキ  
ッチンが故障したため、  
これまでの感謝を込めて  
寄贈することにした。  
17日に同社で開いた贈  
呈式では宮坂寿文社長が  
山口幸雄代表に目録を手  
渡し、感謝状を受けた。  
宮坂社長は「ことし8  
月に広島市で発生した土  
砂災害の現地支援では  
山口代表にも同行して  
もらい、レスキューキッ  
チンの貴重さがよく分か  
った。ぜひ活用を」と説  
明。山口代表は「被災者  
たちに温かい食べ物も提  
供できれば」と話してい  
た。